



各 位

平成25年7月23日

会 社 名 フジオーゼックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 深谷 研悟
(コード番号 7299 東証第2部)

問 合 せ 先 常務取締役 野地俊広
(TEL 0537-35-5873)

当社の親会社 大同特殊鋼株式会社
代 表 者 代表取締役社長 嶋尾 正
(コード番号 5471 東証第1部、名証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成25年4月26日に公表いたしました平成26年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成26年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結 四半期純利益	1株当たり連結 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,400	200	350	500	24.33
今回発表予想(B)	7,800	500	700	650	31.63
増減額(B-A)	400	300	350	150	
増減率(%)	5.4	150.0	100.0	30.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 平成25年3月期第2四半期	7,976	715	736	443	21.55

平成26年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,950	1,000	1,400	1,200	58.40
今回発表予想(B)	16,500	1,300	1,700	1,300	63.27
増減額(B-A)	550	300	300	100	
増減率(%)	3.4	30.0	21.4	8.3	
(ご参考)前期実績 平成25年3月期	15,940	1,229	1,418	840	40.86

平成26年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	150	250	400	19.47
今回発表予想(B)	7,000	450	500	500	24.33
増減額(B-A)	500	300	250	100	
増減率(%)	7.7	200.0	100.0	25.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 平成25年3月期第2四半期	7,510	626	751	484	23.58

平成26年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	700	900	800	38.93
今回発表予想(B)	14,500	1,000	1,150	900	43.80
増減額(B-A)	500	300	250	100	
増減率(%)	3.6	42.9	27.8	12.5	
(ご参考)前期実績 平成25年3月期	15,008	1,174	1,542	965	46.94

修正の理由

第2四半期累計期間業績予想について

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は国内及び米国経済に回復の兆しが伺えるものの、中国をはじめとする一部新興国の経済成長の鈍化や、欧州経済の長期低迷など世界経済の下振れリスクの懸念があり、先行き不透明な経済環境が続いております。

当社グループが属する自動車業界では、円高の是正から輸出は回復傾向が見られ、国内需要もエコカー補助金終了に伴う国内需要の低迷から穏やかな持ち直しの動きがみられます。

このような事業環境の中、売上高は期初想定を上回る見込みであり、収支面においても変動費、固定費の徹底した経費削減活動の継続により収益が確保できる見通しであるため連結、個別共に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

通期業績予想について

第2四半期累計期間以降の受注状況につきましては経済状況の先行きが不透明ではありますが、現状の状態がしばらくの間は継続するものと想定しており、通期の業績予想についても連結、個別共に売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上